

## 大路川流域治水協議会（第4回）を開催しました！

令和6年12月16日に流域内の8地区代表者、行政関係者（計38名）が集まり、大路川流域治水協議会（第4回）を開催しました。  
 「雨水貯留タンク」「田んぼダム」「流水監視システム」の取組状況や全県展開の進捗状況を説明し、出席者の皆様と意見交換しました。  
 今後も流域の皆様と一緒に「流域治水」の取組を進めていきます。

### 主な説明内容

#### <雨水貯留タンクの試行設置状況> ※「流域治水通信」第11号に掲載した内容

- 雨水貯留タンクを実際に見ていただき、治水上の役割と日頃の花壇への水やりなどへの使い方を教えていただき、タンクの普及を目指しています。

#### <田んぼダムの取組拡大に向けて>

- 田んぼダムの更なる推進を図るため、多面的機能支払交付金の活動組織を対象とした出前研修会を実施しています。（10市町村 計7回 参加者 計182名（12月時点））
- 研修会の参加者から取組手法や活用可能な補助制度、堰板の調達方法など、多く問い合わせをいただいています。

#### 【鳥取県全体の田んぼダムの年度別取組状況（R3～）】 ※累計の数値

R3年度		R4年度		R5年度		R6年度(見込)	
地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
10	60	17	147	21	270	23	313



#### <流水監視システム構築の進捗状況>

- 流域内の排水機場や樋門等の効果的な操作、水位・稼働状況の見える化を目的として、PCやスマートフォンで閲覧可能な遠隔監視システムを構築中です。
- 現在、システムの試行版（プロトタイプ）が完成しており、今後はシステムの実施設計や施設の操作要領の改訂を進めます。



#### <全県展開の進捗状況>

- 令和6年度は、防災学習や各種会議での周知やイベント時にグッズ配布を行うなど、情報発信を強化し、流域治水の取組の周知拡大を図りました。

### 協議会での主な意見

- 雨水貯留タンクの試行設置は良いことだが、少量ずつやってもなかなか広がらないので、予算をしっかりと確保すべき。
- 雨水貯留タンクの取組を普及させるためには助成制度が必要である。
- 田んぼダムの効果をわかりやすく示してほしい。（例：25mプール●杯分の貯留効果など）

### これまでの開催経緯

- 令和3年 5月：第1回協議会開催（取組主旨、事例紹介）
- 令和4年 2月：第2回協議会開催（雨水貯留対策の効果等、効果算定方法の途中報告）
- 令和6年 3月：第3回協議会開催（ビジョン案の提示）  
大路川流域治水ビジョン」公表
- 令和6年12月：第4回協議会開催（今年度の取組状況、今後の進め方、意見交換）

### 今後の予定

- 令和7年 1月：各地区との意見交換会（地元の取組ヒアリング）
- 令和7年 2月：第5回協議会（地元取組共有、ビジョン更新案提示）
- 令和7年 3月：ビジョン更新版の公表

バックナンバーはこちら⇒

